

4月6日～15日は春の全国交通安全運動期間です

子どもの行動に注意しましょう

小さい子どもほど自宅の近くで事故に遭います。事故の原因は、飛び出し、駐車・走行車両の直前・直後の横断、信号無視、自転車乗用中の安全不確認・一時停止違反などが高い割合を占めています。

- 歩道などからの急な飛び出しは危険ですからやめましょう
- 交差点では左右の安全をしっかりと確認しましょう



交通マナーを守りましょう

歩行中や自転車乗用中の死者数は、いずれも高齢者が全年齢層の約3分の2を占める高い割合にあります。高齢者は、他の年齢層の方と比べて、道路横断時（横断歩道外横断、走行車両の直前・直後の横断など）の違反割合が特に高くなっています。

- 夜間出歩くときは反射材を活用しましょう
- 地域の手でお年寄りを交通事故から守りましょう



シートベルト・チャイルドシートは必ず着用しましょう

シートベルト・チャイルドシートを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて9倍以上と極めて高く、着用率の向上は交通事故被害の軽減の要因となっています。

- 全員が締めていますか？シートベルト
- 安心はひざの上よりチャイルドシート



危険な自転車運転はやめましょう

自転車の対歩行者事故の発生件数は、10年前の約5倍に増加しています。無灯火や二人乗り、乗用中の携帯電話使用、歩道などでの暴走など、自転車の危険な通行実態が指摘されています。

- 自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう
- 自転車の無灯火や二人乗りはやめましょう



踏切では必ず止まって左右を確認しましょう

市内でも踏切事故が発生しています。遮断機の有無にかかわらず、いったん止まり、電車が来ないか左右の確認をしましょう。

- 必ず止まり、目と耳で安全を確認しましょう
- 踏切・線路内で遊ぶのは危険ですからやめましょう



▶問い合わせ 防災安全課交通担当（内線284）

須加小学校が全日本学校関係 緑化コンクールで入選

青少年の緑化活動と学校での緑化教育の推進を目的に(社)国土緑化推進機構が主催する全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部で、須加小学校が埼玉県審査の優秀校に選定され、その後の中央審査会において国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

同校では児童・教職員・PTA・学校応援団が連携し、校地内にある野鳥の森に児童が自ら作った鳥の巣箱を設置するなどして自然に親しむ「サンクチュアリ」ゾーンや、野菜などの食べられる植物を育成する「食育」ゾーンなど、4つに区分した特色ある学校緑化活動を行っています。これらの取り組みが評価され、今回の受賞となりました。

▼問い合わせ 教育総務課財務施設担当
☎556-8311

